

令和元年度 第1回理事会 議事録

- [1] 日 時： 令和元年5月29日(水) 午後6時30分～午後7時10分
- [2] 場 所： 東京都新宿区内藤町11番4 東京都立新宿高等学校 保護者控室
- [3] 出席者： 理事総数 9名(定足数5名)
- (1) 出席者 理事 8名 田中俊郎、加藤 隆、寺澤忠興、岡野美幸、
山下しのぶ、秋山小南、佐藤栄作、安藤直樹
- 監事 1名 松木丈浩
- (2) 同席者 事務局 1名 吉村 悟
- [4] 議 案
- (1) 評議員の推薦
- (2) 平成30年度事業報告
- (3) 平成30年度収支及び財産の状況
- [5] 審議経過及び審議結果
- (1) 代表理事田中俊郎が議長となり、理事会の開会を宣言する。
- (2) 第1号議案を別紙により提案、事務局吉村からの説明後、満場一致で承認された。
- (3) 第2号議案を別紙により提案、事務局吉村からの説明後、満場一致で承認された。
- (4) 第3号議案を別紙により提案、事務局吉村からの説明後、満場一致で承認された。
- 尚、平成30年度「公益目的実施報告書」について、監事より「適正」との監査報告書を得ていることを報告。

午後7時10分、議長が閉会を宣言。

上記決議を明確にするため、本議事録を作成し、議長及び出席理事が次に記名押印する。

以上

令和元年 5 月 29 日

一般財団法人東京都立新宿高等学校朝陽会 理事会

議長	代表理事	田 中 俊 郎	⑩
	理事	加 藤 隆	⑩
	理事	寺 澤 忠 興	⑩
	理事	岡 野 美 幸	⑩
	理事	山 下 しのぶ	⑩
	理事	秋 山 小 南	⑩
	理事	佐 藤 栄 作	⑩
	理事	安 藤 直 樹	⑩
	監事	松 木 丈 浩	⑩

令和元年度 第1回理事会

令和元年 5月 29日

一般財団法人 東京都立新宿高等学校 朝陽会

第 1 号議案 評議員の推薦

1. 規定

- ・定款第 11 条 4 によれば、評議員選定委員会に提出する評議員候補者は、理事会又は評議員会がそれぞれ推薦することが出来ることとなっており、今回は理事会より評議員選定委員会に対し、新評議員を推薦する。
- ・また定款第 12 条によれば、任期は選任後 4 年以内に終了する事業年度の打ち最終のものに関する定時評議員会の終結の時までとなっている。
- ・本年度は改選期のため、令和元年度第一回評議員会が開催される令和元年 6 月 12 日で全評議員が任期満了となる。

2. 新評議員の推薦

- ・新任候補者、及び退任者は以下の通り。

氏名		出身	任期
内海 秀一	新任	新宿高校	4 年
古溝 紀也	退任	新宿高校	

- ・任期満了による重任候補者は以下の通り。

氏名		出身	任期
小峰 和則	重任	新宿高校	4 年
佐藤由紀夫	〃	〃	〃
鎌田 邦広	〃	朝陽同窓会	〃
柴田 眞樹	〃	〃	〃
鈴木 裕太	〃	〃	〃
鈴木 仁志	〃	〃	〃
長江千亜紀	〃	P T A	〃
白塚 明子	〃	〃	〃
岩崎 洋平	〃	〃	〃

尚、重任候補者は、全員重任することを承諾している。

3. 評議員選定委員会の開催

- ・令和元年 5 月 30 日(木)に評議員選定委員会を開催し、上記新評議員候補者の審査を行う。

第2号議案 平成30年度事業報告

1. 一般財団法人朝陽会の現況に関する事項

1.1 新宿高校館山寮の運営管理

平成30年度の新宿高校の臨海教室は、例年通り7月23日から3泊4日の4期に渡って行われました。今年の臨海教室中には二つの強い台風が館山地区を襲われ、第2期の出発が危ぶまれたり、第4期の最終日には午前中の予定を中止して朝食後に帰京したりしたものの、全体を通しては事故もなく無事に終了することができました。新宿高校教職員、PTAの皆様、水泳会OBOG、館山地区の方々のご努力、ご協力の賜物と感謝申し上げます。

館山寮の補修事業に関しては、当年度は朽ちていた物品倉庫の改築、宿泊棟の天井裏に断熱材を敷設し、直射日光による温室状態を幾分かでも緩和し住環境を改善いたしました。

平成28年度から始まった大規模改修工事は、厨房全面改修、食堂の冷房LED照明化、公共道路前面の竹藪伐採整地、船倉の改築等により当面の事業は終了し、改修費用総額の約半分の1,650万円を朝陽同窓会100周年記念募金からの寄付で賄いました。

また、臨海教室の安全装備の充実のための消耗品、備品の購入、小型船舶資格取得援助も例年通り行い、また、給食の提供も従来通り行いました。

1.2 新宿高等学校の教育活動の支援

朝陽バラ会に運営費の補助として5万円を寄贈しました。

朝陽同窓会と協同で朝陽塾などの学校活動を支援いたしました。

1.3 新宿高校水上寮の維持管理

平成26年度に老朽化した建物を解体し、その後更地のままになっている旧水上寮の有効活用を検討するも、必要な資源がなく進展させることができませんでした。

2. 財産及び損益の状況

別添の会計報告書の通り。

3. 対処すべき今後の課題

1.1 臨海教室の日程短縮

今年度は2泊3日で行われることが決定しているが、それに伴う収支の悪化が避けられないこと。また給食制度の維持に困難と費用が増加する恐れがあること。

1.2 館山寮の老朽化対策

100周年記念募金による大規模改修は終了したものの、基本的な躯体の老朽化の高進は避けられず、再び大規模な改修工事が必要になる時にどのように対処するか。

第 3 号議案 平成 30 年度収支及び財産の状況

1. 収支－予算実績対比

1) 経常収益

- ・ 賛助会員は予算比 4 名増加し 266 名となり、納入率は 83%になった。
- ・ 寮使用料収入は一般 OBOG の利用が例年に比べて減少したことなどによる。
- ・ P T A から 20 万円の寄付を受領した。

単位：千円

－は収益の減少

項 目	予算	実績	増減
賛助会員受取会費	3,930	3,990	60
寮使用料収入	9,461	8,929	－532
寄付金、雑収入	155	214	59
合計	13,546	13,133	－413

2) 経常費用－事業費

- ・ 厨房新規設備、大型エアコンなどの電気代が予算を幾分超過したことを除けば、総じて予算内の執行となった。

単位：千円

－は費用の増加

項 目	予算	実績	増減
減価償却費	6,499	6,495	4
光水熱費、燃料費	928	1,026	－98
消耗品費、備品費	1,020	682	338
賃借料、保険料	800	802	－2
委託費	9,149	9,086	63
その他費用	1,852	1,867	－15
合計	20,248	19,958	290

3) 経常費用－管理費

項 目	予算	実績	増減
一般管理費	260	163	97

4) 収支差額

- ・ その結果、ほぼ予算通りの収支となった。

－は収支の悪化、赤字

項 目	予算	実績	増減
当期収支差額	－6,962	－6,988	－26
〃（除く減価償却費）	－463	－493	－30

2. 財産－前年対比貸借対照表

1) 資産の部－基本財産

- ・当年度は大規模な設備投資を行わなかったため、減価償却費によって資産が減少した。

単位：千円

項目	当年度	前年度	増減
土地(館山、水上)	56,430	56,430	0
建物、建物付属	34,583	39,313	－4,730
機械設備、器具備品	1,952	2,485	－533
定期預金	0	0	0
合計	92,965	98,228	－5,263

2) 資産の部－特定資産

項目	当年度	前年度	増減
預金	0	0	0

3) 資産の部－その他

- ・当期収支悪化による現預金の減少、朝陽塾立替金の増加

項目	当年度	前年度	増減
現預金、立替金	6,624	8,388	－1,764

4) 負債の部

- ・当年度は74回生賛助金3月31日までの入金分

項目	当年度	前年度	増減
前受金	3,930	3,900	30

5) 繰越金の部

- ・前年度は朝陽同窓会100周年記念募金からから900万円の寄付があった

項目	当年度	前年度	増減
繰越金	102,717	101,808	909
当期損益	－7,059	908	－7,967

6) 総資産、負債・繰越金合計

項目	当年度	前年度	増減
総資産、負債・繰越金合計	99,589	106,617	－7,028